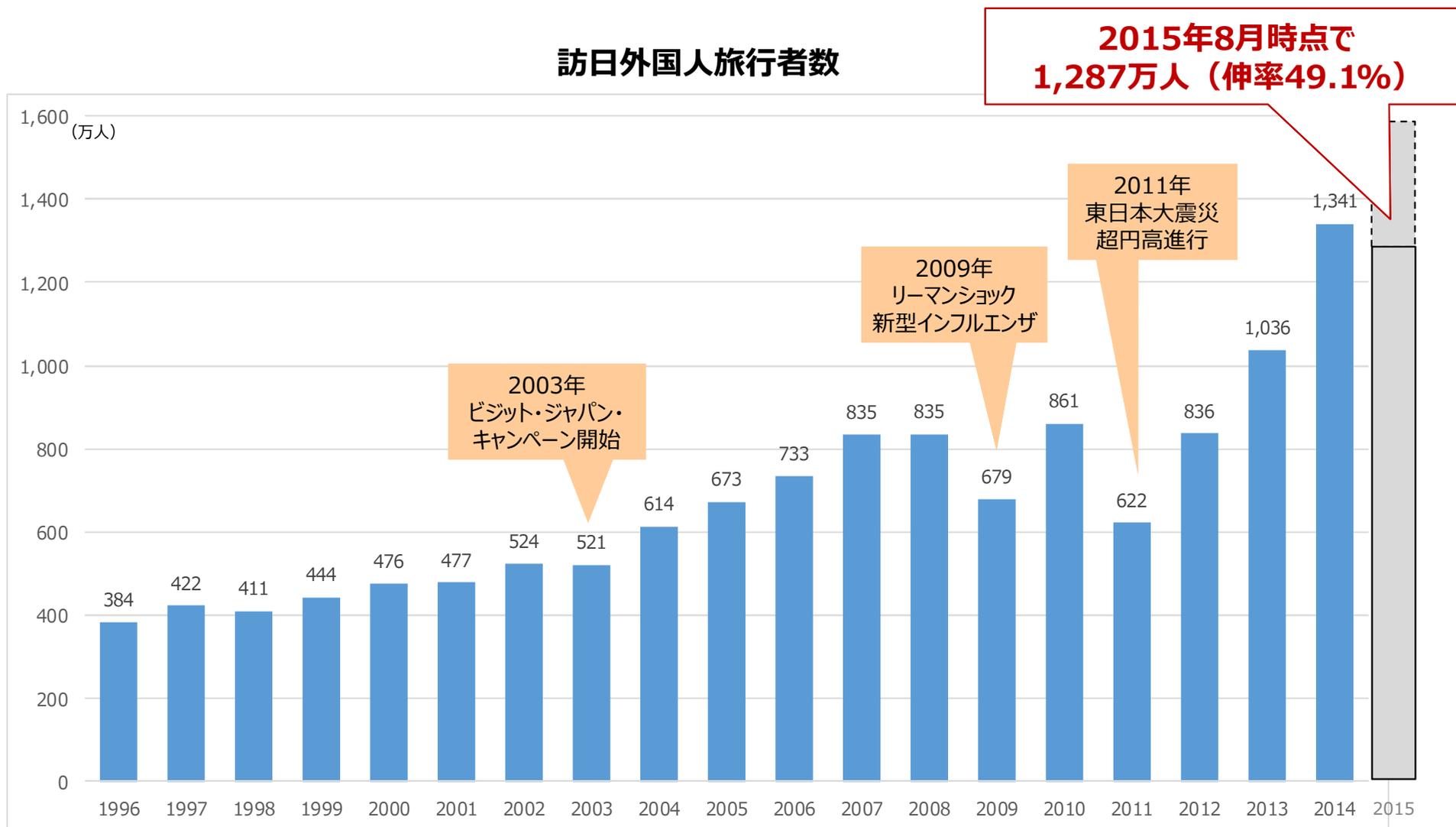


訪日外国人旅行者の概況と 訪日中の情報収集について

株式会社 J T B総合研究所
事業開発部 主席
岡田 邦喜

訪日外国人旅行者の概況

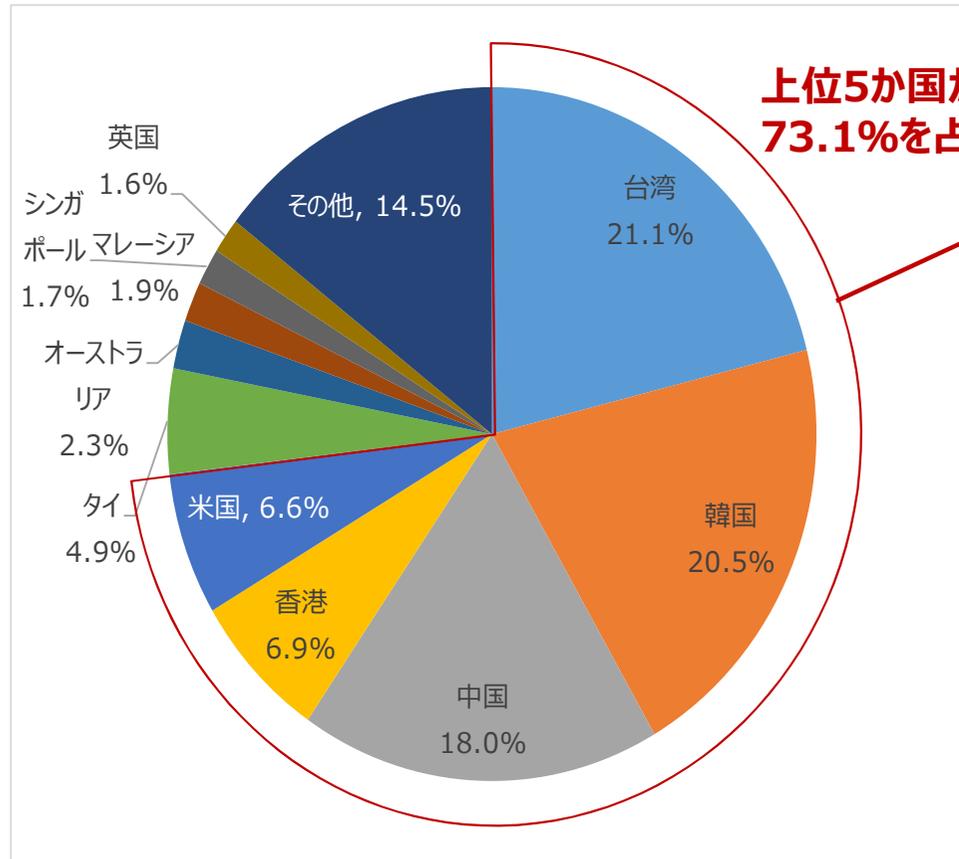
- 訪日外国人旅行者数は増加傾向、2003年のビジット・ジャパン・キャンペーン開始以降大幅に増加している
- 2014年は免税制度の改正、ビザ緩和、円安などが追い風となり、過去最高の1,341万人となった
- さらに増加傾向であり、2015年1月～8月の8か月間で1,287万人を突破している



出典：日本政府観光局（JNTO）統計データ・国籍／月別訪日外客数よりJTB総合研究所にて作成

- 2014年の訪日外国人旅行者数の上位5か国・地域は、台湾、韓国、中国、香港、米国であり、全体の73%を占める
- タイ、マレーシア、フィリピン、ベトナムの伸率が伸長している

訪日外国人旅行者 国・地域別構成比 (2014年)



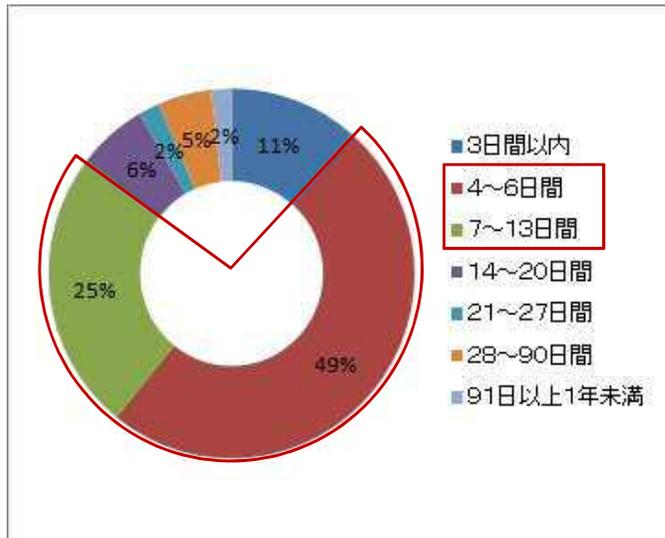
訪日外国人旅行者 国・地域別 (2014年)

	2013年	2014年	伸率	構成比 (2014年)
総計	10,363,904	13,413,467	29.4%	100.0%
台湾	2,210,821	2,829,821	28.0%	21.1%
韓国	2,456,165	2,755,313	12.2%	20.5%
中国	1,314,437	2,409,158	83.3%	18.0%
香港	745,881	925,975	24.1%	6.9%
米国	799,280	891,668	11.6%	6.6%
タイ	453,642	657,570	↑ 45.0%	4.9%
オーストラリア	244,569	302,656	23.8%	2.3%
マレーシア	176,521	249,521	↑ 41.4%	1.9%
シンガポール	189,280	227,962	20.4%	1.7%
英国	191,798	220,060	14.7%	1.6%
フィリピン	108,351	184,204	↑ 70.0%	1.4%
カナダ	152,766	182,865	19.7%	1.4%
フランス	154,892	178,570	15.3%	1.3%
インドネシア	136,797	158,739	16.0%	1.2%
ドイツ	121,776	140,254	15.2%	1.0%
ベトナム	84,469	124,266	↑ 47.1%	0.9%
インド	75,095	87,967	17.1%	0.7%
ロシア	60,502	64,077	5.9%	0.5%
その他	686,862	822,821	19.8%	6.1%

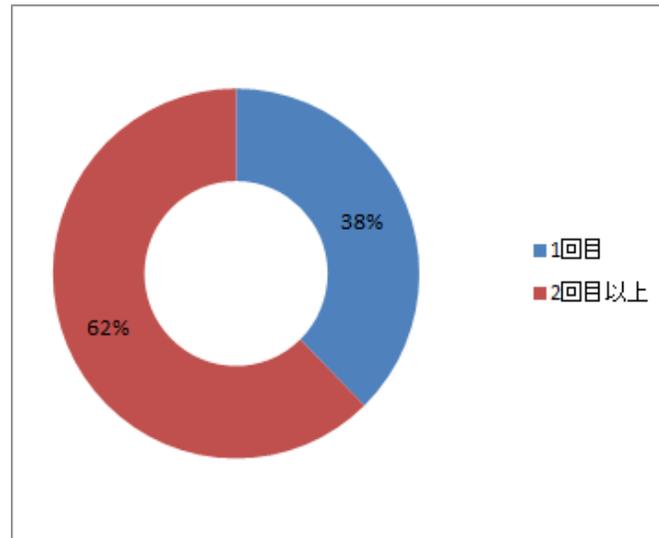
出典：日本政府観光局（JNTO）統計データ・国籍／月別訪日外客数よりJTB総合研究所にて作成

- 4～6日間の滞在日数がおよそ5割と最も多く、4日間～13日間の滞在で75%を占める
- 訪問回数は2回以上が6割あるものの、**リピート率は国地域によって異なる**
- 同行者は家族・友人が最も多く、概ね同水準で自分一人が続く

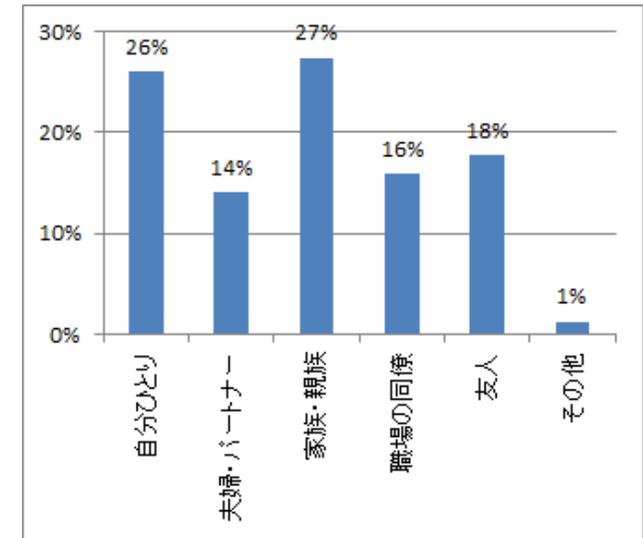
【滞在日数】



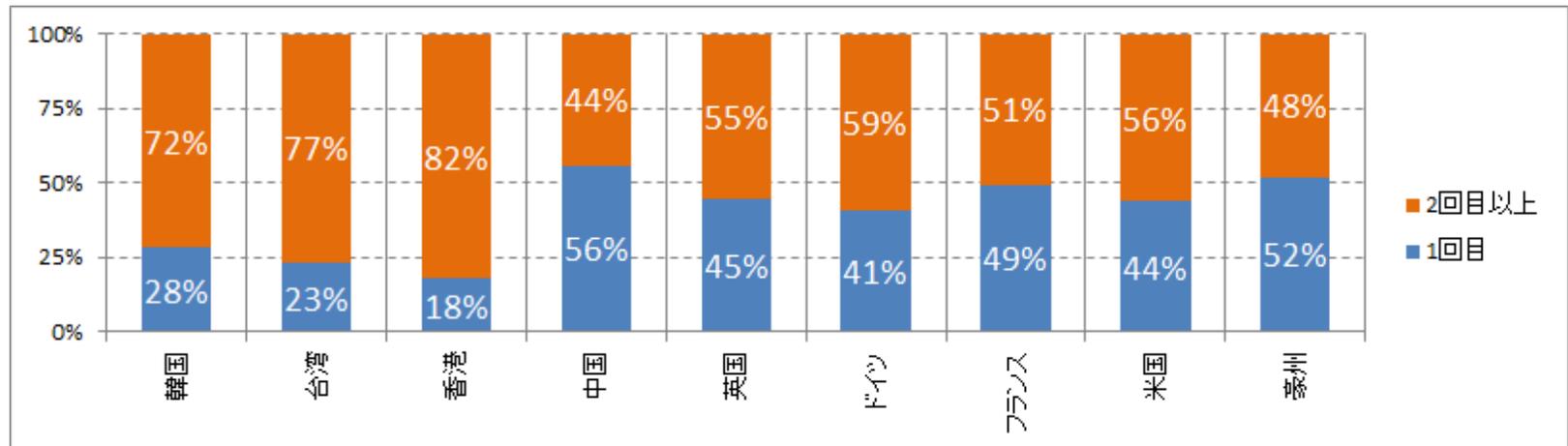
【訪問回数】



【同行者（複数回答）】



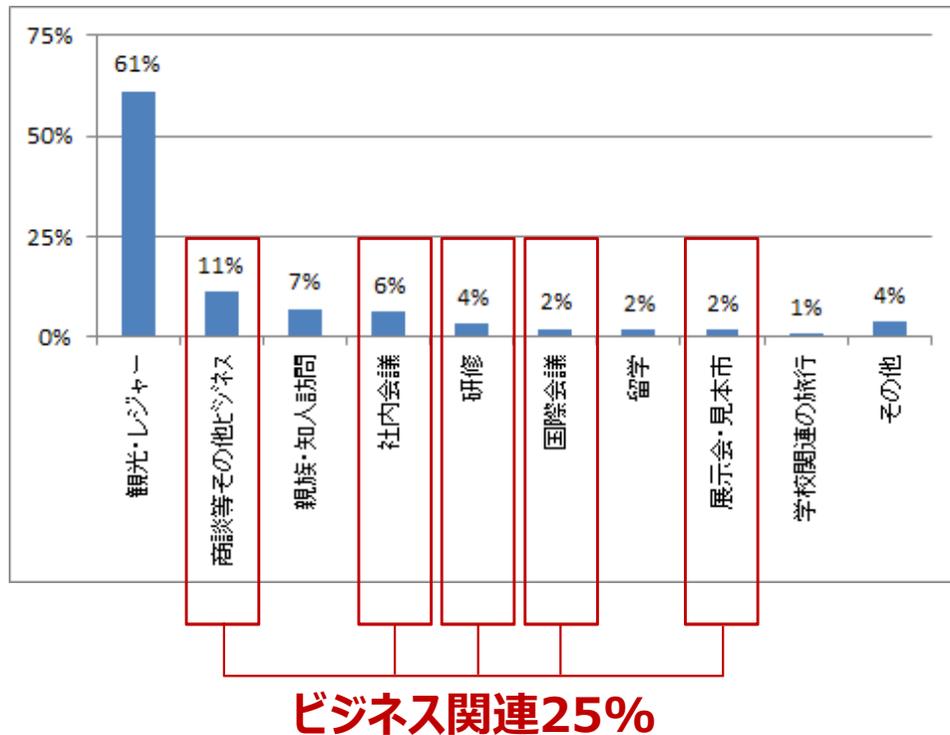
【国・地域別訪問回数】



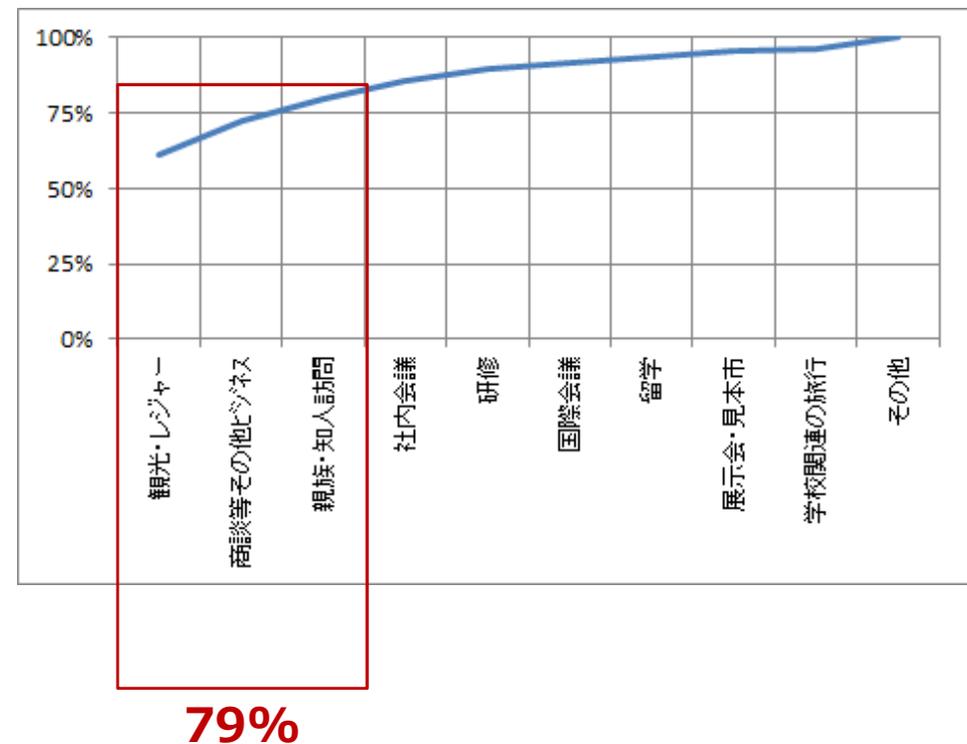
出典：観光庁 訪日外国人消費動向調査平成26年（2014年） 暦年 第1表 国籍・地域（19区分）別 回答者属性および旅行内容に基づき JTB総合研究所にて作成

- 訪日旅行の目的は観光・レジャーが60%を占め、商談、MICE、研修などビジネス目的は25%を占める
- 上位3目的で全体の8割程度

【主な来訪目的】 ※降順



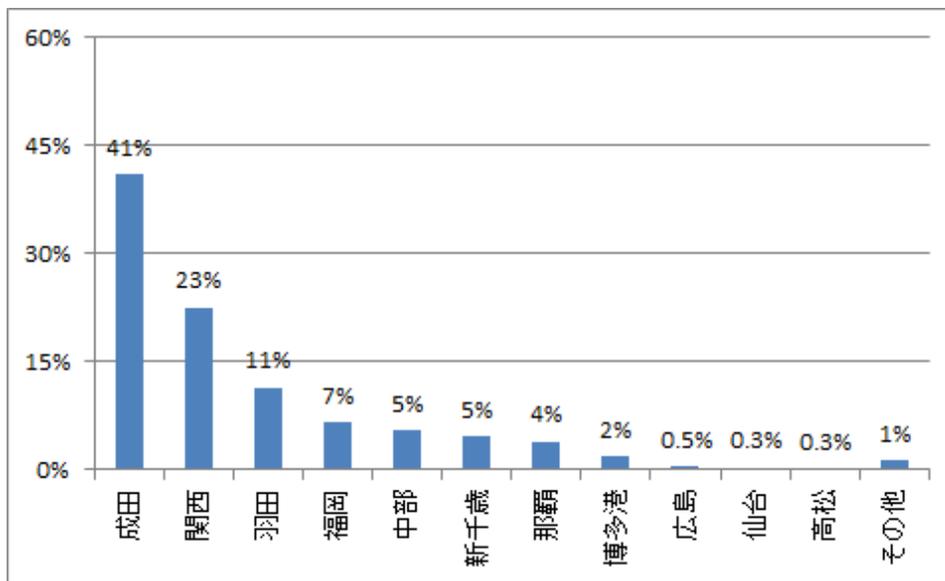
【主な来訪目的（累積）】



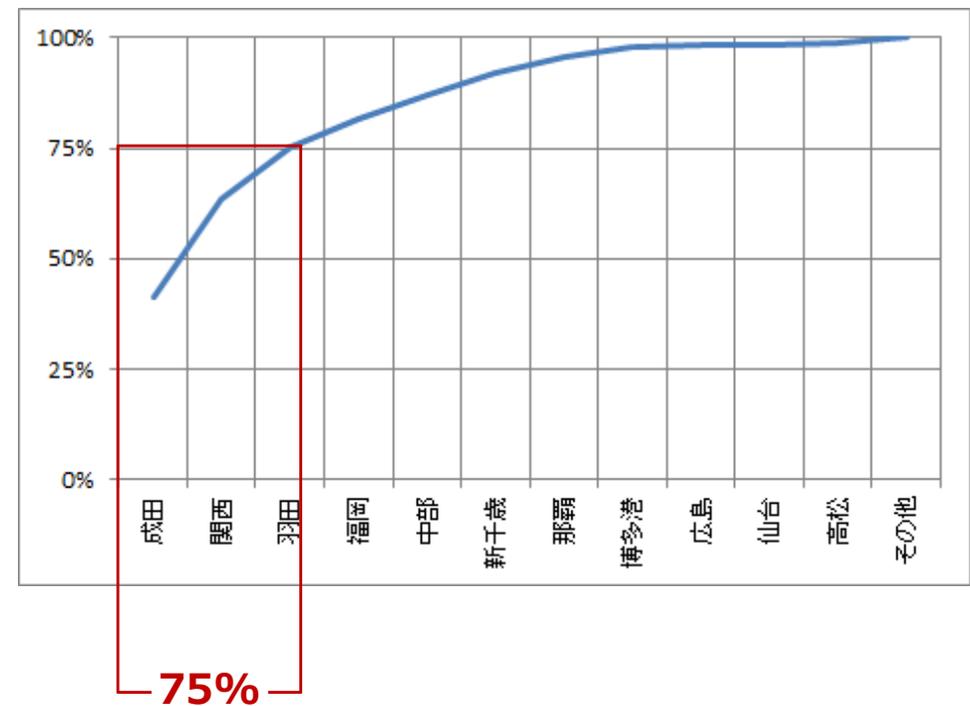
出典：観光庁 訪日外国人消費動向調査平成26年（2014年） 暦年 第1表 国籍・地域（19区分）別 回答者属性および旅行内容に基づき JTB総合研究所にて作成

- 入国空港・海港は成田・関空・羽田3空港で75%

【入国空港・海港】



【入国空港・海港（累積）】



出典：観光庁 訪日外国人消費動向調査平成26年（2014年） 暦年 第1表 国籍・地域（19区分）別 回答者属性および旅行内容に基づき JTB総合研究所にて作成

- 入国空港・海港所在地と主な宿泊地域との相関は高い
- 東北、北陸・信越地域の滞在者は、成田からの入国が多い

【主な宿泊地域と入国空港・海港】

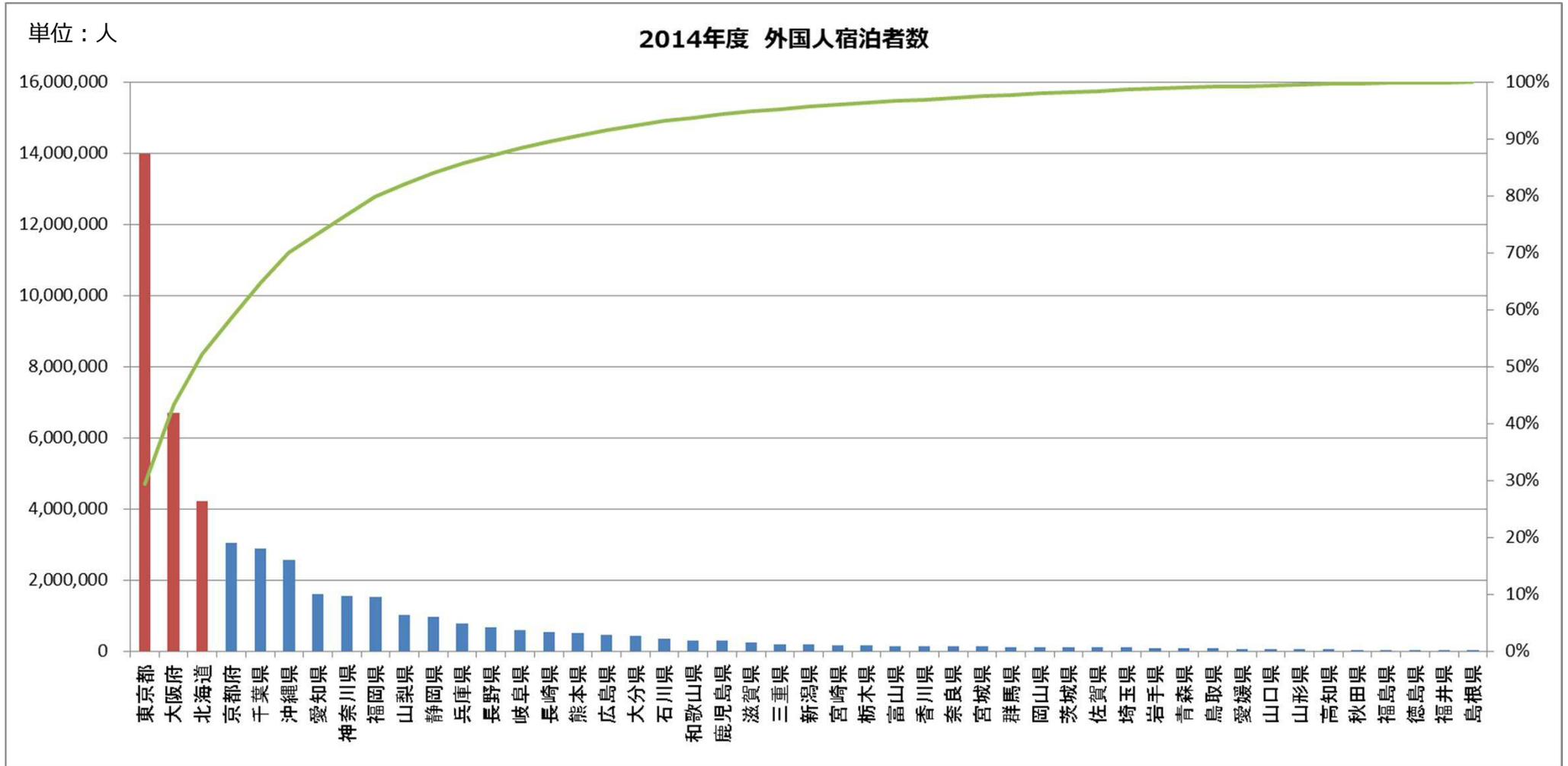
	北海道	東北	関東	北陸 信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
新千歳	70%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
仙台	0%	19%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
羽田	4%	12%	20%	14%	4%	2%	7%	7%	1%	2%
成田	18%	66%	70%	63%	21%	13%	17%	11%	4%	5%
中部	0%	1%	1%	6%	66%	1%	0%	1%	0%	0%
関西	3%	1%	7%	11%	7%	83%	27%	31%	2%	1%
広島	0%	0%	0%	1%	0%	0%	32%	3%	0%	0%
高松	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	40%	0%	0%
福岡	0%	0%	0%	1%	1%	0%	14%	2%	69%	0%
那覇	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	92%
博多港	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	23%	0%
その他	5%	1%	1%	4%	1%	1%	3%	4%	1%	0%

表頭：沖縄のみ総合事務局その他は運輸局

出典：観光庁 訪日外国人消費動向調査平成26年（2014年） 暦年 第1表 国籍・地域（19区分）別 回答者属性および旅行内容に基づき JTJ総合研究所にてデータテーブル作成

宿泊施設における訪日外国人旅行者の位置づけ

- 東京・大阪・北海道では延べ宿泊者数に占める訪日外国人旅行者の割合が20%を超えており、大都市圏を滞在拠点とする傾向が窺える



出典：観光庁 宿泊旅行統計調査2014年4月～2015年3月計よりJTB総研作成

属性

- 訪日外国人消費動向調査によると、男女比は概ね 1 : 1
- 年代構成比で見ると20's~40'sで全体の7割以上を占め、30'sが最も高い

旅行形態

- 4~6日間の滞在日数がおおよそ5割と最も多く、4日間~13日間の滞在で75%を占める
- 訪問回数は2回以上が6割
- 同行者は家族・友人が最も多く、概ね同水準で自分一人が続く

旅行目的

- 来訪目的は観光・レジャーが60%、ビジネスが25%
- 上位3目的で全体の80%程度

入国 滞在

- 入国空港・海港は、成田・関空・羽田3空港で75%
- 入国空港・海港所在地と主な宿泊先の相関は高い

訪日外国人旅行者は、「台・韓・中・香・米」が75%を占め、60%が「観光」を目的に、25%が「ビジネス」を目的に来訪している。滞在日数については、「4~13日間の滞在」が75%を占め、入国・滞在地域については、特に関東・関西の大都市圏に集中している。

訪日中の情報収集について

旅行先でどのような情報を集めたのか？（上位5項目）

- 台湾、韓国、中国、香港は、いずれも「観光地等の見所や内容」が1位であるが、2位以下の項目は様々であり、その収集度合いも異なる
- 米国の「現地発のオプションツアー」が1位というのは特徴的であり、移動情報よりも滞在の仕方についての興味度合いの高さが窺える

台湾

観光地等の見所や内容	100
現地の交通機関	79
予約した航空機・宿泊施設・旅行等	77
空港⇄宿泊施設間の移動交通	73
観光地等の地図	73

韓国

観光地等の見所や内容	100
現地の交通機関	79
飲食物の内容	77
観光地等の地図	72
ショッピング	58

中国

観光地等の見所や内容	100
レストラン・飲食店	85
現地の交通機関	84
ショッピング	84
観光地等の地図	81

香港

観光地等の見所や内容	100
現地の交通機関	89
空港⇄宿泊施設間の移動交通	86
観光地等の地図	83
レストラン・飲食店	77

米国

現地発のオプションツアー	100
レストラン・飲食店	96
観光地等の見所・内容	88
予約した航空機・宿泊施設・旅行等	83
飲食物の内容	81

※1位となった項目を100として2位以下をINDEX化

出典：JTB総研独自調査 2015年1月～2月 WEBアンケート調査より

情報収集源とほしい情報

- 情報手段として多く用いられたのは、台湾、韓国、中国、香港では「スマートフォン」であり、米国は「パソコン」であった
- 5か国・地域は滞在中の情報として、「無料Wi-Fi」が最も必要と考えており、次いで「交通手段」となっている

日本滞在中に役に立った旅行情報源（複数回答）

(単位：%)	台湾	韓国	中国	香港	米国
インターネット（スマートフォン）	57	53	49	56	42
インターネット（パソコン）	30	17	26	33	46
宿泊施設	20	8	10	20	14
空港の観光案内所	20	7	11	22	13
観光案内所（空港除く）	19	10	12	16	15
日本在住の親族・知人	9	12	16	5	41
旅行ガイドブック（有料）	6	7	6	8	12
フリーペーパー（無料）	3	9	3	3	4
その他	4	2	7	3	4
特になし	16	20	22	14	9

日本滞在中にあると便利だと思った情報（複数回答）

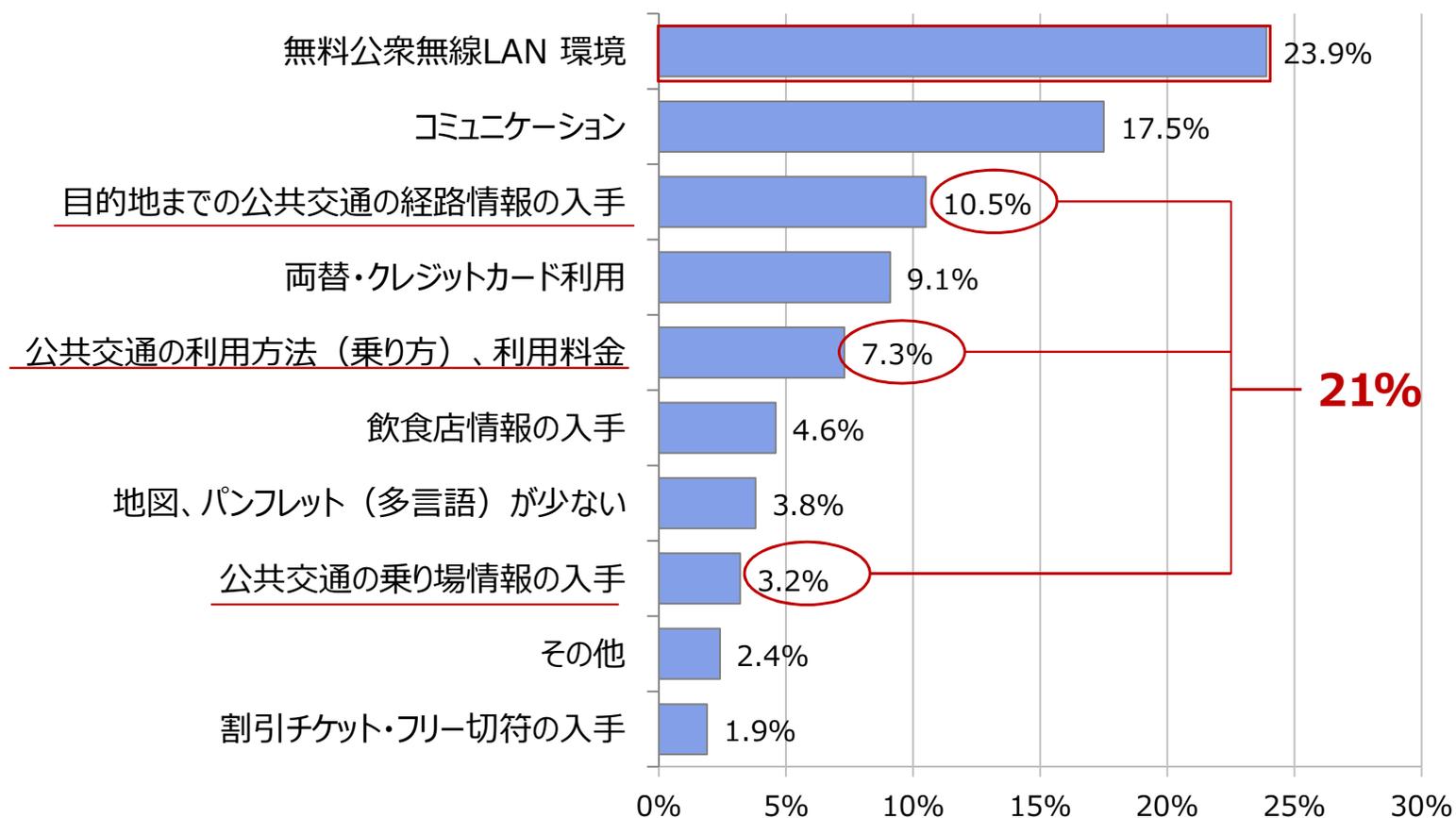
(単位：%)	台湾	韓国	中国	香港	米国
無料Wi-Fi	59	41	52	61	33
交通手段	57	22	47	54	55
宿泊施設	37	15	28	35	16
飲食店	33	14	38	34	46
観光施設	33	7	23	35	14
買物場所	31	8	43	30	14
イベント	18	3	10	12	12
土産物	17	4	18	13	8
両替所	5	3	5	4	9
現地ツアー	4	3	3	3	3
ATM	3	3	8	4	18
宅配便	3	1	3	2	2
その他	1	4	1	1	3
祈祷室	0	0	1	0	0
特になし	8	27	14	7	15

出典：観光庁「平成26年 訪日外国人消費動向調査」に基づき JTB総合研究所にて作成

訪日旅行中に困ったこと

- 旅行者が最も困ったことは「無料公衆無線LAN環境」が23.9%で最多となっている
- 上位10項目のうち、3項目が公共交通機関に関する情報についてである

旅行中最も困ったこと 上位10項目



出典：観光庁「平成23年 外国人旅行者に対するアンケート調査」に基づき JTB総合研究所にて作成

取得情報

- アジア圏（台湾、韓国、中国、香港）は、いずれも「観光地等の見所や内容」が1位
- また、アジア圏の2位以下の項目は2様々であり、その収集度合いも異なる
- 米国は「現地発のオプションツアー」が1位であり、滞在の仕方についての興味度合いの高さが窺える

収集手段 必要情報

- 収集手段は、台湾、韓国、中国、香港では「スマートフォン」であり、米国は「パソコン」であった
- 米国は、「日本に滞在中の親族・知人」から情報収集するケースが多く見て取れる
- 滞在中に必要な情報としては、「無料Wi-Fi」が最も多く、次いで「交通手段」となっている

訪日中 困ったこと

- 旅行者が最も困ったことは「無料公衆無線LAN環境」が23.9%で最多となっている
- 次いで「コミュニケーション」が17.5%である
- 上位10項目のうち、3項目が公共交通機関に関する情報についてである

**訪日外国人旅行者の取得する情報は、国・地域で多少傾向が異なる。
アジア圏の「観光地などの見所・内容」に対して、米国は「オプションツアーなど」。
情報の収集手段については、アジア圏は「スマートフォン」、米国は「パソコン」「親族・知人」。
訪日中に必要な情報、困ったことについて、「無料Wi-Fi」、「公共交通機関」が共通している。**

ご清聴ありがとうございました。